

鶴田皓 法學者。大保六年十一月二十六日肥前國生れ。明治二十年四月十一日歿（二三五一八）。字々編、通稱彌太郎。號斗南。郷學教授後、辰蔵に從軍。のち昌平學校教授、補、明治二年大學少助教、翌年刑部少判事、轉じ、「新律綱領」、「改定律例」の撰定に關與。歐洲出張後司法大丞、元老院議員、參事院議員等歴任。この間刑法、治罪法の編纂に參劃。



父鶴田斌の漢詩集『鶴鳴詩』（明治十一年四月序、無刊記）を編輯刊行。